

### 資源ごみ回収にご協力をお願いします。



平成26年度  
瀬戸・寿上水道組合総会開催される！！

資源ごみの回収収益は「ゆめじゅく会」の活動に役立させていただいております。回収品目は新聞紙、段ボール、雑誌類、古布類、アルミ缶(スチール缶はダメ)です。このような資源ごみがありましたらいつでも瀬戸会館まで持ってきてください。回収場所は、瀬戸会館の自転車置き場の一角に設けております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 新しい役員でスタート！

去る5月7日(水)19時から、瀬戸会館において、各自治会長、水道委員出席の下、平成26年度の上水道組合の総会が開催されました。原組合長代行のあいさつの後、議長の選出、提出された議案が審議されました。平成25年度の事業では、アスベスト管の入れ替え工事、漏水工事等々の報告、会計報告に引き続いて監査報告がされ、それぞれ一括承認されました。その後、今年度の新役員として、組合長に原 寿也氏、副組合長に吉岡直輝氏、高津章人氏、監事に原 道次氏、高津英正氏、会計と検針・集金従事者は山田ミワ子氏、佐伯亜弓氏の両名がそれぞれ提案され承認されました。平成26年度の事業では、原組合長より、水道委員会の開催、料金問題、メーターの設置年度の調査などの実施とこれらを含めた学習会を実施したい等の提案があり、総会は成功裏の内に終了いたしました。



〒792-0821

新居浜市瀬戸町7-30  
新居浜市瀬戸会館



TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)

E-mail : seto@city.niihama.ehime.jp

### 十人会は毎週木曜日

19時まで瀬戸会館事務所を解放しています。

たわいも無い話や、人には言えない話、相談など何でもかまいません。お気軽にお立ち寄りください。



### サークル紹介

ズンバとは、ラテンミュージックとエクササイズを融合させたダンスエクササイズです。どなたでも気軽に参加できる笑顔で楽しいレッスンです。

練習日：毎週火曜日(11:30~)  
毎週木曜日(19:00~)

### 総会で承認された学習会を次のように開催します

日時：平成26年6月17日(火) 19時~

場所：瀬戸会館会議室  
内容：瀬戸・寿上水道組合のこれまでの経過とこれからの取り組みについて

対象者：自治会長、水道委員  
(関心のある方は、この機会に学習してみませんか?)



### 水道組合からのお知らせ

検針・集金人さんが困っています。また、メーターの検針を適正なものにするため、次のことにご注意をお願いします。

- 1 メーターボックスの上に物を置かないでください。
- 2 メーターボックスの中に土砂が入らないようにしてください。
- 3 犬がいて検針ができない場合があります。飼い犬を玄関付近やメーターボックスの側に近づけないでください。

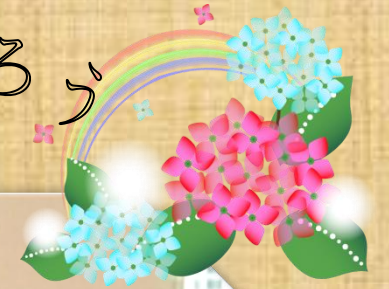
六月の主な行事予定

- ★移動図書館「青い鳥号」
- 四日(水)・一八日(水)十四時~十四時二十分
- ★「人権のつどい日」
- 月日：六月十一日(水)
- 日時・場所：十九時三十分~ 瀬戸会館
- 演題：「瀬戸会館の歴史とこれからの取組」
- 講師：瀬戸会館館長 高津 章人さん
- ★絵本の読み聞かせ
- 「さくらクラブ」 泉川小学校放課後児童クラブ
- 三日(火)・十日(火)・十七日(火)・二十四日(火)
- ★六月の人権・同和教育行事予定
- 十九日(木) 社会教育委員会(市民文化センター)
- 三十日(月) 果人教新居浜支部総会(消防庁舎)
- ★回転木馬
- 六月三日(火) 十時三十分~十一時三十分



# 人権あらかると

人権のつどい日にひろく



## 人権シンポジウム in 長崎

子どもと人権

～いじめ・体罰・虐待のない社会を目指して～ 要約掲載分より  
小森美登里さん（特定非営利活動法人ジェントルハートプロジェクト理事）

私は、一人娘をいじめによる自死で失いました。15歳で亡くなりましたが、今、生きていたら31歳です。あの日から今日まで、どうしていじめ問題が解決していないのか、いくつか思い当たることがあります。1つ目は私たち大人が心の存在をないがしろにしてきたからではないでしょうか。目に見える肉体と目に見えない心、この2つが揃って1つの命があるということを大人も認識する必要があると思います。2つ目は被害者責任論がメディアや学校で氾濫していることです。自殺する人は弱いんだ、いじめられる子に原因がある、といった考え方は、今まさに苦しんでいる子どもを死へと追いつめてしまう気がしてなりません。さらにもう1つは、やり返すことをいじめの解決策として教えている大人が多くいることです。私どもNPOでもアンケートをとりましたが、やられたらやり返していい、やり返すぐらいの強さが大切だ、と考えている大人が約半数いました。自分がされて辛いことは他の人にしてはいけない、と大人が教えることを徹底できたらと思っています。

また、多くの子どもたちが大人に相談をしないのは、なぜでしょうか。大人に相談して問題が大きくなるくらいなら、現状維持の方がまだましだと考える子どもや、自分がいじめられていることを知ったら親は心配するだろうという気持ちから言えない子どももいます。親子のコミュニケーションがとれていれば、子どもは何でも話してくれると誤解している大人もいますが、親が大好きだからこそ言えない、親だけには言えない、そう話してくれる子どももいます。

また、アンケートからは、実はいじめをしている子どもたち自身、約7割が苦しみや辛いことを抱えていることもわかりました。私たち大人はいじめに関して知っているようで知らないことが多くあります。子どもの声を聞くためにも子どもにしっかりと寄り添っていただきたいと願います。

（「アイユ」④、2014年Vol.275より）



西条市立三芳小学校谷口校長

5月11日（日）、瀬戸会館で「人権のつどい日」に講師谷口晃さんをお招きして「今を輝くために」と題して、ギターを片手に講演（好演奏！）をしていただきました。

講師の谷口晃さんご自身の体験をもとにお話ししていただくとともに、思い出のエピソードにまつわる全8曲の歌の披露。歌詞に込められた想い、素晴らしい歌唱力が心に響き、ただただ感動！

「Let it Go」では、世間のしがらみや偏見、差別にとらわれないうで自分を解放する、「ありのままの自分を発信して・・・」と、本当は言いたくない事を具体的に話してくださる、講師の誠実で正直な生き方が深く心に残りました。

人は生きているからあたたかい。人のあたたかさを伝えていきたい。自分の心の中にある差別する気持ちに、勝ち続けなければならない。『自問自闘』しながら、人らしい生き方を！

「悲しいことがあっても、また幸せになれる。それは命があるから」という言葉が、とくに、印象に残りました。「何度聞いても心が洗われます」との感想も寄せられました。